

令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：市街地整備課
 担当名：八潮新都市等整備・区画整理担当
 内線：5378 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B7	つくばエクスプレス沿線地域整備推進費			一般会計	土木費	都市計画費	土地区画整理費	つくばエクスプレス沿線地域整備推進費	
事業期間	平成 7年度～ 令和11年度	根拠法令	大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法	宣言項目		03	大地震など危機への備えの強化	SDGsゴール	11
				分野施策		041040	活力を生み出すまちづくり	SDGsターゲット	11-3
1 事業概要 つくばエクスプレス沿線地域において、住工混在を解消し、良好な住宅地の供給を図り、地域の活性化に寄与する。 (1) 工事に関する経費 35,000千円 (2) 負担金 △35,000千円 (3) 事業推進に要する経費△5,586千円				5 事業説明 (1) 事業内容 本事業は、つくばエクスプレス開通のための鉄道用地創出と共に、駅周辺地域の都市基盤整備と良好な住宅地の供給を図り、「悠々としっかりと、家族みんなの未来を育むことのできる街」および「これからの豊かさを想像する、大きな未来が待っている街」を目指したまちづくりを推進するものである。 ア 八潮南部西地区土地区画整理事業(県施行) (ア) 工事に関する経費 1,307,076千円→1,342,076千円 (イ) 負担金 111,000千円→ 76,000千円 (ウ) 事業推進に要する経費 34,064千円→ 28,478千円 (2) 事業計画 ア つくばエクスプレス沿線地域整備推進費 年度別事業計画(単位：億円) 金額 令和1年度 令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 23.2 27.6 26.0 16.4 11.8 5.6 (3) 事業効果 ア 八潮南部西地区 ・物件の移転及び道路等の都市基盤整備を行うことで、使用収益開始率が約74%から約78%となる。 ・保留地を販売することで、保留地処分率が約47%から約51%となる。 (4) 補正予算の概要 ・経費節減による減等 △5,586千円 (5 事業推進に要する経費) ・保留地処分金に係る財産収入の増 260,931千円 (5 事業推進に要する経費)					
2 事業主体及び負担区分 (1) 事業主体：県 (2) 負担区分 ・旧地活：国5/10, 県4/10, 市1/10 ・都再区：国5/10, 県4/10, 市1/10									
3 地方財政措置の状況 公共事業等債 充当率90% (通常分50% 財対分40%) 交付税措置 財対分 50%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×22.6人=214,700千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	分担金・負担金	財産収入	県 債				
決定額	△5,586			260,931				△266,517	2,598,190
現計額	2,603,776	585,538	167,107	500,000	469,000			882,131	